夕刊
磐城新聞
六月二日發行

定價　一部金五錢　一ケ月金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告料金（普通欄金六拾錢　雜報欄金九拾錢　一行一回）（五號十二字詰一行　場所指定五割增）
編輯印刷發行人　鈴木　衍
福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所　磐城新聞合資會社
登錄交換電略（タイライワキ）平局私書函第十二號　電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇八●五五六五番

天氣豫報
小名濱測候所觀測

今晩は南東の風晴
明日は南の風晴後曇

藝術は賣品なりや
——齋藤畫伯に捧ぐ——

島田忠夫

一

齋藤利彦畫伯の『愛鄕畫賦』とやらに、愚弟島田春雄が大へん失禮なことを書いた。私もそれを讀んで認めた。私は決して兄弟であるから愚弟をかばふと云ふことはしない。けれども春雄の書いた文章は、決して全部が惡意に滿ちた文章と云ふのではない。私と弟の彼とは、もう二年あまり會はぬし、彼がいま、どんな思想であるかも知らない。また、どんな人々と交際してゐるかも、詳しくその動靜をも知らない。しかし、私の見るところ、愚弟のあの文章は、言ひ過ぎてはゐるが、決して齋藤畫伯の仕事の妨害者でせうか。される『仕事の妨害者』でせうかはもちろん無い。彼の中心は藝術の問題のやうである

○

私には、齋藤畫伯の御文章の方が興味がある。畫伯は、藝術上の問題よりも、頒布する一種の事業の爲めにやつきとなつて居られる。つまり、愚弟のあの文によつて、計劃が幾分なりとも妨害されるやうに言つて居られる。そんな事はない筈で、眞實、畫伯が立派なお仕事をなされるならば、一二の者何か書いた位で、いささかも妨害などされる筈はない

ただ、私が疑問とするところは、畫伯が專ら繪を賣らんことのみ畫家の存在價値がある如く思つて居られることで、これは實に寂しい、本當によい仕事をすれば、そんなに骨を折つて、一ケ月も繪筆をなげうつて畫業に熱中せんでもよいやうに私は思ふのですが、どうでせうか

○

私が齋藤畫伯に敬服するのは、今までのペンキ畫の額などより外に鑑賞されなかつた漁村山家の人々にまで、美しい貴方の繪が行き渡りつつあることで、これは磐城文化の上にも實に立派な功績です。しかしその反面、美校まで卒業せられた貴方が、その若さで、あの繪にだけ熱中されると云ふことは實に貴方自身、御省なさるべきではないで

俳句　題　燕
華生

人馴れて机に留まる燕かな
去年來た燕に似たる燕來る
燕や暗示すること多かりき
子等ともに仲よく遊ぶ燕かな
燕に座敷とられて笑ひけり

消息
上州から

平の市制布かれたことを慶賀申上げます、土地の新聞文化のいろ／＼貢献あることを痛感致します只今、個展の作品を描きに、上州を旅して居ります、こちら梅雨のやうです、峽谷は寒い日がつづきます、御自愛を祝ります、お序の折青沼市長によろしく匆々

島田生

黄昏
大竹秋平

ねがおもひで黄昏に
鈍びまさり行く浮雲は
つらきかたみのみだれ髮

故渡邊文彌先生胸像成
珠雲　小野務平

文教元勳世譽望
榮遷到處德聲芳
溫顏如玉又如父
胸像新成進幕長

艶ある色はかはりはて
心の海も退き潮の
沈み落さぬたびしさに
戀も、望みも散る花と
散りて影なく音もなし
ただかなしみは息ながく
殘りてあれや夕設け
高き御座に一筋の
燈臺の燈明し明々と
舞子の濱を躍かせ
一筋明るく照り渡る
戀の光りの射ところ

6月3日

△和歌山縣樫野崎にトルコ軍艦遭難記念塔竣工除幕式△ペルリ軍艦を率ゐて浦賀に來航（嘉永六）△東郷司令長官、敵將ロジエストウエンスキーを佐世保海軍病院に見舞ふ（明治三八）△我軍尼港を占據（大正九）

新刊紹介

△法律新聞（五月廿五日號）判決特報『藝妓連れ御難』その他例により記事豐富（一部税共十錢五厘、東京市日本橋區本町四丁目五ノ五其社）
△財政情報（六月號）（一冊三十錢税一錢、東京市京橋區銀座西五丁目五其社）

講談　妖刀流轉（103）
邑井貞吉演　佐々木今朝吉畫

魔劍の行方（九）

十『そりやお成りませぬ、この刀は御主人樣へ差上げるお家の寶、他人に渡してなるものか』

老『渡さぬと有れば仕方が無い、氣の毒ながら生命は貰つた覺悟をしろ』

と老人が、十内を目がけて斬つてかゝつた、此方も一生懸命、風敷包の儘例の刀を振り廻し必死になつて防ぎつゝ

十『人殺し、人殺し』

と悲鳴を擧げた、騷がれては大事の破滅と老人の方も夢中になつて斬りかゝるが、十内も武家奉公をした男、多少の心得はあるからこんな爺に負けて堪るものかと激しく抵抗する中に紛れ當りか十内が、横に引拂つた刀の鞘が先方の兇器を打落した

老『味をやるなつ』

と叫び樣、老人は十内に飛かゝつて武者ぶりつき、組んづほぐれつ熊谷堤で怪しの老人と十内が死に身の格闘

今は双方一生懸命、泥塗れになつてむしり合つてゐる中に、十内がギヨトッとしたのは相手の老人の相恰が變つた事で、十内が夢中で老人の頭髮の毛を摑み引倒さうとしたらば髮の毛がズツポリとぬけ、アツと思ふはづみに捻ぢ倒され苦し紛れに下から相手の長い髭を摑んだところ、この髭が又ズバリと拔けた、こんな氣味の惡い話はない

見る／＼中に今迄の老人が恐ろしく若くなつた、云ふ迄もなく假髮と附髭で老人を裝つてゐたのであります、而もその生地の顏を見て十内は二度吃驚

十『お前は木戸だな、源四郎だなつ』

と叫んだ、我名を呼ばれ先方も愕然とした樣子

源『そういふ貴樣は何者だつ』

云つたが、十内の見たと目に紛れもなく此奴は正に木戸源四郎で、前回申上げた如く殿の御愛妾お菊の方に毒を盛られ、既に危ふかつた所を品玉の早業を利用して難を免れた男

お菊の方は反對に、自分が毒を飲んで即座に絕命、源四郎は宥くなつたが、斯うなつては自分に疑ひのかゝるのは必定、そうでなくとも重ね／＼身の危くなつた場合だけに、狼狽も一方ならず、御殿の混雑に取紛れて、逸早くも國元を出奔したので御座います

元より品玉をやる位の男人目を避ける爲め變裝位は何でもない、らう人に身をやつし、豫て刀の鑑定に聊か目の利いてゐる所からそれを表向の稼業として、諸國を廻つてゐたところであります

目立たぬように脇刀は油紙へ包んで背負ひ、廻り廻つて熊谷の佐賀屋へ泊つた折柄、合宿をした男がお屋番の十内とは氣がつかなかつた、これ氣づかぬ譯で、十内は笠取山の遭難から顏に怪我をして半面に痣が出來、人相が變つてゐる、此方はらう人に變裝、これでは双方氣もつかなかつた筈

源四郎は十内が刀の夢を見たと聞き、どんな刀か調べ度くなり、無理に刀を見せた所、柄際から二寸上つた所にポツリと一つ星の刻印、源四郎も豫てお家の秘藏になつた名刀が紛失した一條を聞いてゐる、無銘ではあるし星の目標、正にこの刀は御詮議中の物に違ひない、此名劍を探し出して國へ歸れば、今までの罪も帳消しになる、元より お菊の方の自業自得、その辯解も立て度いと考へだから、遮二無二この刀が欲しくなつた

然し尋常では渡さぬに極つてゐる、そこで夜中に十内の臥床から、盜み取らうとしたが具合が惡い、思ひついてこの堤に待伏せ、脅かして刀を捲上げようとしたのであります

新車のおしらせ
斷然!!!　乘心地良い!!!
ベビーフオード
入車いたしました。
是非！御試乘の程を！
豆タクの……スズキタクシー
市內四〇錢…市外二割引
電二一七番

平病院
平市警察署側（元磐城共濟病院跡）（電六四一番）
院主 院長　醫學博士　鈴木定藏
內科 小兒科　院長 醫學博士 鈴木定藏　部長 醫學士 木下基一
產婦人科 一般外科 皮膚泌尿器科　部長 醫學士 池谷宗三郎
レントゲン科 物理的療法科　部長 醫學博士 鈴木定藏　技師 岡田重德
藥劑科　藥劑部長 師 吉本孝平
◎診療時間　每日午前八時ヨリ午後九時迄（夜間診療ニ從事ス）
往診隨時（急患ハ此ノ限リニアラズ）
病室完備……入院隨時〔自炊ノ便アリ〕
入院料　一日　特等—武圓　一等—壹圓五拾錢　二等—壹圓參拾錢

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
和洋銅物 金物問屋
（久）釜屋商店
磐城國平市五丁目　電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は（久）の生命なり

吉田眼科醫院
醫學士　吉田久雄
平市紺屋町　電話六八番

內臟外科一般　外科花柳病科（入院隨意）
平市六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

診療科目
一、齒科一般　保存科、補綴科、繼續架工科　齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 西川誠
中野齒科醫院
平市田町（松月堂向ヒ）（電話五〇九番）
（見習看護婦募集）

男女學生夏服
（高）高嶋屋の洋服
新柄背廣　レンコート
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目　電話三八六番

ほねつぎ
平市公園下
桑原柔道整骨院
電話六七四
神經痛ニ リウマチスニ オレンヂパスタ

外科、內臟外科　エツキス光線科
新設……產婦人科
院長　安齋徹
醫學士　黑澤廣
入院隨意
平市田町
安齋醫院
電話四七五番

プロナウン
壯年、老年の方　飲酒家、肥滿體ノ方　血壓をお測り下さい
當店では皆樣のために標準血壓計を設備致し御自由に御使用願ふやうに致しました
血壓降下藥として又それの放任に依つて起る中風動脈硬化、腦溢血、神經衰弱等の最も恐る可き老衰病の豫防並に治療劑としての効果、當店の信用に懸け確固たる自信のもとにお勸め申上ることの出來る製劑
定價　1.50　3.00　5.00　10.00
福島縣平市出町
阿部藥舖

磐城の御みやげ品
名物　靈峰羊羹（みやま）　金十錢
姉妹品　柿羊羹。のり羊羹。沼ノ內辨天羊羹。
御旅のお出入には好個のお土産品です。
小賣御希望の方お申越下さい。
製造發賣元　小川郷驛前　平屋賣店

豆炭、コールタール販賣
一、品川豆炭
大袋 五貫匁入 金七十五錢也
小袋 壹貫匁入 金二十錢也
壹袋カラ配達致シマス、ドウゾ御注文下サイ。
一、コールタール一本（十五キロ入）金九十五錢
一本ヨリ配達致シマスカラ是非御試メシ下サイ。
電話三七番
平驛前
（ツ）阿部石炭店

平市田町
高久病院
（電話五三一番）
內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽濟
藥劑士 佐竹菊雄

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平 南町
病室完備
上田醫院
（電話一二九）

難波醫院
內科 小兒科
入院隨意 自炊の便あり
平市大町 電話五〇二番
（看護婦見習、看護婦募集）
醫學博士　難波睦

藥品 百貨
福島縣平市二丁目
西村屋藥舖
藥劑士　鈴木新右エ衛門
電話三番
振替 東京六・二二〇一 仙臺一・二九九

初夏の夜空を彩つて 赤い灯の祝賀大行進
大平市誕生記念繪巻

晴れの平市誕生日にあるまじき雨に濆された昨一日は、小學兒童の旗行列順延に引續き提灯行列も絶望視された處午後に入つて降りみ降らずの裡にも漸次空模様が好轉し六時頃には初夏そら特有の桔梗色に霽れ上り、夕陽燦々と若葉に映えて此日を記念する平全市民をしてヂッとして居れなく仕向けた、青年團員等による俄かの知らせに、豫て用意の提灯を翳し乍ら役場前に集つた歡樂の市民數千名は劉喨の音樂隊を先頭に隊伍堂々市內を灯に彩り乍ら役場前を西進、揆槌小路より本町通りを五丁目角に、同所で二隊に分れ、第一班は新川町南町方面へ、第二班は大工町、鍛北方面へ、更に別動第三班は梅香町稲荷神社前に集合平橋に於て平窪の一隊と合流、幕の內、中鹽を經て第四小學校(舊平窪校)に至り萬歳三唱縣道を行進歸着した等夫々若葉に薫る快い初夏の夜氣を浴び乍ら美しい赤い灯のマスゲームに徹底的とも謂ふべき記念祝賀氣分を彌が上にも高調した

歡びの催しいろ／＼
研究會の廣告車＝釜屋の二宮金次郎樵讀銅像其他

廣告研究會が照明華々しい加入關係店の廣告トロ十五輛を自動車に牽かせて人出の街を行進したのは流石尖端的廣告術に就き常に智能の總動員を續けてゐる集團丈けに一寸目新しい試みであり、更に釜屋商店が店頭に二宮金次郎樵讀の銅像(等身大)を建し『市制の原『勤務より』と道破説明し別に報徳訓の立札を配したなどを人目をひき、次に三丁目行進中の提灯行列に向つてなかや階上より五彩の紙テープが蜘蛛の巣の如く投せられたなども祝賀氣分に一段拍車したかの觀があつた

精巧な仕掛花火に 捲き起る狂喜の嵐
昨夜の新川端附近

ふるにせよ之れ丈けは——と照り降りに拘らぬ催しものとして最初から當て込まれた藝妓屋組合の花火は、夕方からの天候恢復に一層人氣を唆り、小花火の上げ始められた八時過ぎ頃から新川堤を中心に集つた人の群で非常な賑ひを見せ『祝市制』の仕掛花火其他珍奇な出し物に見物の老若男女をして狂喜の絶頂に導いた

バンザイ!
小學兒童の旗行列

生憎の雨にけふに持ち越された三小學校兒童の旗行列は午前九時各校門を出發『祝市制』の小旗の波に市內を奉祝色で彩つた

けふ各課長任命
市役所の陣容整ふ

木の香も清々しい新看板を掲げた『平市役所』では今二日附を以て課長、主任級を任命した、草野前平窪村長は產業、兵事兩課長に、同小泉助役は戸籍主在となつたのである、けふの市役所はこれに伴ふ位置がへ其他でゴッタ返してゐた

主事　草野常彌
產業並戸籍兵事課長を命す

臨時助役　酒井寅之助
學務、庶務、工務各課長を命す

臨時收入役　西野源次郎
財務兼會計課長を命す

書記　四家粂治
平市職業紹介所長を命す

主任

土木　神長倉春造
水道　眞野眞作
學務　佐藤伊太郎
兵事　鈴木　允
戸籍　小泉長佐
文書　岩立淺藏
財務　山野邊達卓
統計　松田賢雄
庶務　松本充弘

三代理者任命

平市制實施により縣では一日附で市長及助役、收入役代理者を左の如く任命した

平市長臨時代理　青沼鉾太郎
平市助役臨時代理　酒井寅之助
平市收入役臨時代理　西野源次郎

繭生產費調查員任命

縣では今回農林省の指定に基き繭生產費調查員二十五名を選び內申中の處一昨三十一日正式任命されたが本郡下の調查員は

草野村齊藤忠一　山田村鈴木一郎

の兩氏である

該調查は生糸買入最低値段を決定する糸價安定法案の實施に伴ひ農林省が全國より繭生產費調查員八百名を選定、六月一日から十月末迄第一期調查に着手するものである

仙遞入所試驗
應募八十八名

仙臺遞信講習所入所試驗は昨、今兩日に亘つて市內磐城訓盲院で行つたが應募者八十八名、このうち採用は僅か數名であらう

中村配屬將校出席 磐中

平商兩中等學校の中村配屬將校は來る十八、九の兩日白河中等校に開かれる縣下中等學校配屬將校會議に出席

飯野村議當選者
落選一名を出す
理想選擧の夢破れ

飯野村會議員選擧は昨一日行はれた、既報の如く無競爭を理想としたが其後一名立候補

有効投票六〇四　無効六　棄權二八

當選者左の如く次點中山崎坂本の兩氏は候補者でなかつた

六〇鈴木秋光　五一山崎甚內　四四渡邊廣一郎　四四山崎貞次　四三鹽干治　三九鈴木榮太郎　三八江尻桃太郎　三八山崎粂七　三二鹽松治　三二北郷喜多治　三三山崎郁子　三〇草野又三郎　三六林寛　三六白土吉三郎　(次點)二九江尻鉎作　一六山崎光直　一板本政一

第一蛔虫驅除

平第一校では四日全兒童に蛔虫驅除のため海人草を服用せしめる

東北鑛山勞務協議會
石城からも各代表出席

仙台礦山監督局管內の礦山勞働者の向上と親睦を圖るため、設立された東北礦山勞務協議會第二回總會は來る十八、九兩日仙台市報恩會館で開催、各礦山の衛生施設と賃銀調查を主題として協議されるが、當日は協調會から講師を招聘 滴會を開く筈で地方からは多分

(磐炭)濱崎副所長　上原勞務課長　石橋第二磐炭勞務主任　(入山)小山田人事係長　中村同主任　(古河)前松勞働係主任

が出席するものと觀られてゐる

田岡農五十嵐鐵治(七四)の殺人未遂事件は平支部關口豫審判事により審理中二日終結、福島地方裁判所の陪審裁判に附されたが辭退、近く平支部中島裁判長係りで公判開廷される

社告

植田支局員　鈴木秀壽

依願退社

磐城新聞社

みやげ物萬引

去月三十日迄江名町で漁夫をしてゐた新潟縣岩船町生れの佐川米次郎(三八)は歸郷の途中郡山市に立寄り懷中のともしさからつい惡心を起し子供の帽子其他呉服類を萬引してみやげ物にせんとした處を其筋に突き出された

一番色よい
文德墨汁
罎入　瓶入
(文)魁文堂
電話313番

每旬の增送統計に 依然變らぬ明朗氣分
去月中の地方炭況

將來年產五十萬噸と註せらる第二磐炭本坑九尺層の着炭は、過般來雌伏の餘儀なき事情に置かれた常磐炭界に新な一種の明朗さを漂はせてゐる。處で最近の送炭具合はどうか、之を去る二十一日以降三十一日迄の發送統計に見ると

營業用四、八〇一車六二、四一八廸　省用一、一二二車一四、九八〇廸
合計六、二五〇車七四、〇六八廸

で前年同期に比し營業用百三十八車、省用百三十八車八百八十廸の何れもの赤字揃ひではあるが、諸事業界の旺盛を語る營業用の增加が四千二百九廸に上つてゐるので結局は車數こそ三百二十七車を減じて居るが數量は反對に三千三百二十九廸を增して居り、前月分を通算すると前年度より七千百八十廸の增となつて居る

石綿蒸籠と鰹節入賞
汎太平洋博覽會で

三月二十五日より五月三十一日迄名古屋市で開催した汎太平洋大博覽會に本縣より約七百點を出品非常な好評を博したが、平市からの出品中左記二點が入賞地方生產品のため萬丈の氣を吐いた

△石綿蒸籠—平市石山忠三　△鰹節—同志茂賀平

嫁斬り男豫審終結

既報—早朝下駄を間違へたがもとで日頃犬猿の間柄にあつた嫁に瀕死の重傷を負はせた双葉郡木戸村字山

些細な事で憤慨 女房を滅多打ち
昨夜磐崎村の慘劇

磐崎村上湯長谷第二磐炭坑夫茨城縣桃生郡大川村生れ武山定治(三七)は一日夜七時頃自宅六疊間に於て妻ハル子(三四)を玄能鶴嘴で顏面を目茶苦茶に毆りつけて瀕死の重傷を負はせ近所のものに『妻を殺して來た』と云ひながら死場所を求めて附近をぶらついてゐた處を駐在巡査に捕へられた

定治は今年一月頃から心臟病に神經衰弱を患ひ仕事もせずにブラ／＼してゐた、處が一日夕刻から苦しみ出したのでハルに『醫者を呼べ』と云ひつけたがハルも餘りの永患ひに呆れ返つてゐた矢先とて叱言がましいことを云つたのでカッ!となり前記の兇行に及んだもの

被害者のハル子は直に長倉診療所に入院手當中だが左耳部に深さ八センチ、骨膜に達するものの外右目の下の深さ三センチの傷などで生命は覺束ない模様である 平署齋藤司法主任及石合檢事が現場に急行した

お披露目

平市の誕生と相前後して、昨日山形家から『夢路』吉野家から『市丸』兩美形が出現

其頃の町議戰を顧る
現在の約六分の一に過ぎなかつた
級別掉尾の有權者數
○△生記 (18)

決定書を手に颯爽と起つた佐藤委員は劈頭、決定書と前提して白銀町のT、胡摩澤のI兩異議申立人の名を讀み上げた。そして咳一咳。鮨詰めの傍聽人は鬼が出ろか蛇が出ろか、滿身を耳にして片唾を吞んだ。斯くして讀み下された決定書の內容——

×

右申立の要旨は大正十年五月三十一日執行したる平町會議員定期改選に於ける二級選擧は選擧の規定に違反せる無効選擧なりと思料するを以て其取消しを求むると云ふに在り、其理由とする處は選擧當日選擧人に非る青山新吾が平町字一丁目淺見浩藏なりと稱して選擧の會場に入り投票をなしたり。右は選擧の規定に違反せるものなり、而も同選擧の會場に於て當選者と決定したる最低得票と次點者とは其差一票に過ぎざるが故に青山新吾の投票を無効とすれば即ち選擧の結果に異動を及ぼす虞あるものなり依て右選擧は町村制第三十三條により取消さるべきものなりと云ふに在り

依て町村制第三十三條により之を受理し審理を遂ぐる處(中略)而して選擧人に非る青山新吾の投票をなしたる事實は、同人が六月十六日附平町長に宛て差出したる自署の書面により認め得べきも同人の爲したる無効投票一票の故を以て直ちに選擧の結果に異動を生する虞あるものと謂ふを得す。即ち青山新吾が何人を選擧したるかを調查檢覈しその一票が最低得點を以て當選したるものの得點中より控除を要せざる限りは選擧の結果に異動を生せざるものとす然るに青山新吾より平町長に差出したる書面によればAに投票したる旨明示しあり、A及最低得票を以て當選したるB(決定書には何れも姓名を明示しあり)の投票を調查したるにBの得票中には青山新吾の筆蹟と認むべきものなく、Aの得票には青山新吾の筆蹟と確信し得べきものあり、故にBの得票中より一票を控除すべき理由無きを以て選擧の結果に異動を生する虞無きものとす依て決定する事左の如し

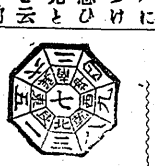
大正十年五月三十一日執行したる平町會議員二級選擧は取消すべきものに非ず

大正十年六月廿一日
石城郡平町會
平町長　伊坂員正

×

多彩なりし其時の違反騷ぎは斯くして大團圓を告げたのであつた　(完)

三日
(小名濱潮候驛發表)
滿潮　前一〇、五〇　後一一、二五
干潮　前四、五五　後四、二五



新暦六月三日　木曜
舊四月二十五日　辛酉　佛滅　定　斗宿

諸判定總帶
東京市本郷區湯島四丁目
高島易斷總本部　神誠舘

▲一白　危險の城を脫して安全地帶に入りたる如し▲二黑　意外の恩惠によくして萬事好成績を收むべし▲三碧　迷ひに迷ひて一向取留めなく終る不安の日▲四綠　離合常なく賴みて賴み甲斐なき日病厄注意▲五黃　一身同體となりて根氣よく勵めば榮達あり▲六白　萬事意の如く行はるゝ日開店起業皆吉▲七赤　總て口舌爭論を防ぎ祖業を堅く守るべき日▲八白　一時も無駄に過ごさず勵まるれば大吉なり▲九紫　落付きを失ひて惡結果を生じ易き日爭注意

廣告

磐城名物
靈峰羊羹(れいほうようかん)
小川郷驛前
平屋賣店

爽颯＝街の市
6月1日ヨリ——市となると共に!!!
夏　夏
清爽　ストローハットの時
¥40ヨリ——¥1.30マデ
若人の美100%
ニュースタイル　パナマーハット
¥75ヨリ——¥9.80マデ
可愛らしいお子様用—帽子—豐富陳列!
ツルヤ　平市四　電-四〇

土地建物　電話金融　種狸分讓
福島縣平市揆槌小路壹番地
乾產業合資會社
平電五五五番

祝平市　記念福引　大賣出し
六月一日ヨリ……七日間
躍進平市を記念し夏の特選秀逸品を大提供!
本セルの特賣と無料仕立
金貳圓御買上每ニ福引券呈上
特等二十圓商品券　一等銘仙　二等中形　三等白地浴衣　四等風呂敷　五等呂錦紗前掛
持越品一掃大廉賣
◎かやト夏掛布團特賣!
夏の京呉服ご銘仙各種
中形の大市
パラマウント　着尺一圓八十錢均一
三井の洋品雜貨　パラソルと日傘　大特賣
平市
三井呉服店
電話　三八・二八四番

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

祝市制
謹啓　弊店儀三丁目に於て永年營業致し居り候處業務擴張のため手狭と相成候間新田町通りに移轉營業仕候に付舊に倍し御愛顧を御願申上度如斯に御座候　敬白
小カヂ式ムシカマド
乘馬具　畜犬具
小鍛冶商店
平市新田町　電話三三番